

署名をさらに広げよう

戦争する国づくりを許さない！

許さない！

戦争する京都づくりを許すな！
さらに進めよう緊急署名集会



緊急署名集会

9月28日に「戦争する京都づくりを許すな！さらに進めよう緊急署名集会」が教文センターでおこなわれ約50人が参加されました。

「安保3文書」「日米首脳会談」「2+2」「拡大抑止協議」京都はどうなるというテーマで報告をおこなった京都平和委員会の片岡さんは、「重要土地調査法、これはその

全労協大会開かれる

全労協は9月29・30日、第36回定期大会を東京で開催しました。活動方針などを採択し、新役員を選出しました。大会は渡邊議長の下で、新バローで締めくくられました。



近辺の基地に関わらせないことが狙いにある」と話されました。

また、丹後のXバンドレーダー基地問題では京丹後市川町の代表の永井友昭さん、舞鶴の海上自衛隊基地地下化問題では舞鶴平和委員会の名取哲夫さん、祝園ミサイル弾薬庫問題では、ほうそのネット共同代表の真崎一伸さんから各地域の軍拡化の実態について、それぞれ発言がありました。

最後に憲法共同センターの梶川代表より行動提起があり「この戦争する国づくりに対して再び市民の力で立ち向かわなければならぬ。大軍拡・大増税緊急署名は、そういう意味で力を入れ直しさらに集めたい」と話されました。

2024年京都年金一揆開催

若い人と高齢者が一緒に行動



年金一揆集会

梶川憲議長は挨拶の中で、年金裁判のたたかいで「女性の低年金問題を社会的に可視化」したことの意義を強調、さらに最高裁判決の補足意見での「今の年金額では生活の安定を図ることは困難」との指摘は、「政治の責任で手当てすべき」ということだと報告されました。

また、年金の支払い方式（積立方式か賦課方式）をめぐる巧妙に世代間の分断がすすめられて「高齢者への年金給付が減れば、若い人が支払う保険料負担が減る」などの政府の説明による新たな世代間分断攻撃の材料になっているとわかりやすく話され、若い人と高齢者が一緒に行動し分断づくりを押し戻そうと訴えられました。

稲葉美奈子さんは「青年の現状」を報告され、将来受給する年金制度へ

の不安もあり、アンケートでは「貯金」がトップで、投資信託等で老後生活の補填を自己責任として押しつけられている実態などを明らかにされました。

特別報告では、23歳で年金者組合に加入した若者や低年金の実態を自ら告発された女性現役労働者の訴え、高校の家庭科の授業で行われている金融経済教育についても報告されました。

今後の運動として、若い人・現役労働者が将来

みんなが安心できる年金制度を

2024年京都年金一揆は、京都総評・京都社保協・年金者組合の三者が共催し、9月22日（日）ラポール京都のホールで行われ168人が参加しました。全労連青年部事務局局長の稲葉美奈子さんは青年のおかれている状況をリアルに報告され、集会終了後四条通りをデモ行進しました。

受け取る年金に大きな影響がある次期「年金改正」の内容も学び年金制度をよくする運動をすす

めること、年金額の底上げと減らない年金を実現していくこと、誰もが年金で生活できるようにしていくため「最低保障年金制度」の創設を本気で実現していく方向が示されました。



年金一揆デモ

府内各地で活発な活動

地区労協のとりくみ

ピアパーティーで親睦深める

8月24日に行ったピアパーティー、昨年を大きく上回る29人の仲間が参加し、親睦を深めました。普段は別々の職場で働く仲間が、食事を囲み、お酒を酌み交わしにぎやかに交流しました。（西右京地区労二ニュースより）

毎月22日にスタンディングアピール

米軍基地があるが故の人権侵害を止めさせたい！と毎月22日にスタンディングアピールを行うことを「米軍基地反対丹後連絡会」で決め、第1

宮津地労協と宮津与謝社保協の共催で行った学習会。国がマイナ保険証を強制しようと躍起になっているわけを詳しく聞きました。今後は「保険証廃止を凍結させること」「資格確認証を無条件で交付させること」などを課題にしてがんばろうと意思統一しました。（宮津地労協より）

奈良 良泉の壺阪寺来大観音像。高さ20メートル、重さ1200トンもあるのですが、何と手造りだそうです。下から見上げるほど、首が疲れるほどで、近くに行くと圧巻です。「今、倒れてきたら逃げ場のないなあ」とかアホな事を考えてました。

巨大観音像

京都総評 伊藤 修平



奈良 良泉の壺阪寺来大観音像。高さ20メートル、重さ1200トンもあるのですが、何と手造りだそうです。下から見上げるほど、首が疲れるほどで、近くに行くと圧巻です。「今、倒れてきたら逃げ場のないなあ」とかアホな事を考えてました。

あなたのバシヤ写真募集中！
「応募方法」①画像1枚、②タイトル、③コメント1000〜2000字程度、④お名前（掲載はペンネーム可）、⑤所属、⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カード（10000円分）を贈呈します。

日常のひとコマ